

## 試験学習の取り組み方 ～学習計画は100%を目指さない。～

=====  
試験合格に向けて、数か月以上前からどのように学習を進めていくかを考えて、学習計画を立てる受験生もいるかと思えます。実際、どのような順序で学習していけば良いかという相談を受けることも少なくありません。

★★★

「どのような学習計画を立案した方が良いか」というお題に対して、一番まともな回答は「人と時期による」だと思えます。その受験生が仕事をしながら受験をするのか、計画通り進められる人なのか、得意分野・苦手分野はどこなのかなどによって、立案する計画内容を変更する必要がありますし、試験1年前から開始、半年前から開始、3か月前から開始という時期によっても計画内容が変わってきます。そのため、学習計画を立案する際は、ご自身の性格や行動傾向を理解する自己覚知をして、試験当日までの期間を踏まえながら、ご自身に適した内容で進めていくことが大切だといえます。

★★★

ここで、立案時のコツをアドバイスさせていただきます。この学習計画は、あくまで試験合格を目標とする計画です。ですから、試験範囲全部をこなすような計画は必要ありません。大きさに言ってしまうと、試験の多くが60%～70%の得点で合格できるので、学習範囲も70%程度の範囲をおさえておけば十分だといえます。

★★★

よく聞く自滅パターンは、試験までの日数が少ないのに、試験範囲全部を学習しようと1日の学習時間を増やしたが、スピードが追いつかず、精神的にも追い込まれ、結果的にほとんど学習ができずに試験当日をむかえるというものです。

★★★

ご自身で出題傾向を踏まえつつ、優先度の高い内容を選択し、あまり出題されていない内容は捨てていく作業をしながら、学習計画を立案していくことで、学習内容を絞った効率的な学習ができると思えます。あまり出題されていない内容を捨てるという作業も、試験対策の1つとして重要なものですので、是非、実践して行ってください。

福祉試験対策工房&ぼぼ屋は、FacebookやInstagramも開設しています。

 @fukusitaisaku.boboya

 fukusitaisaku\_boboya

★「いいね」「フォロー」大歓迎です！是非ご覧になってください★

